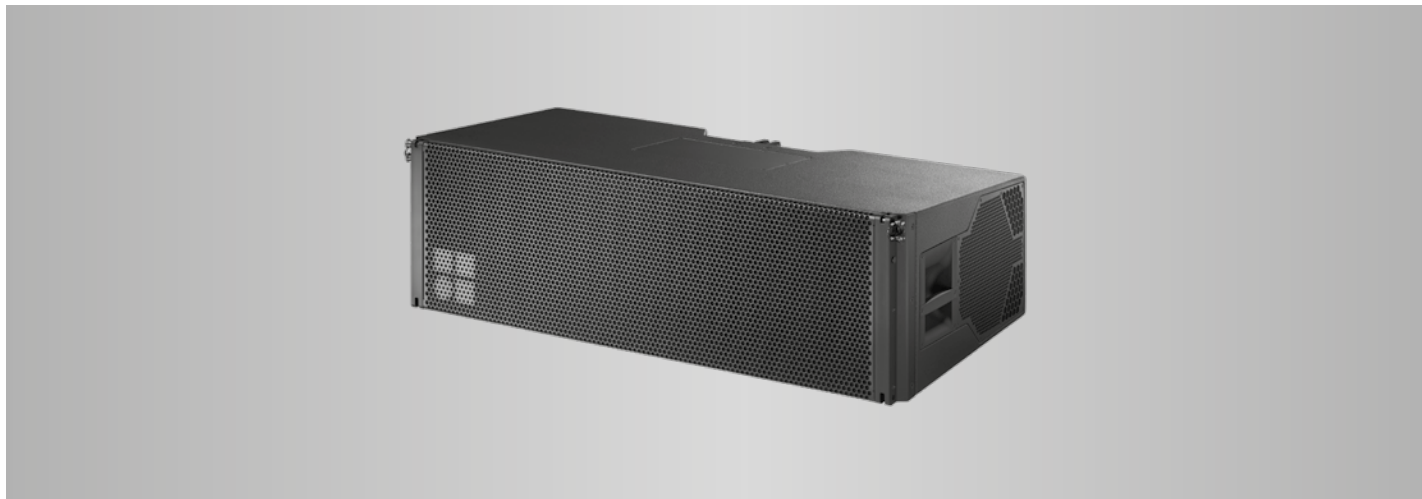


GSL12



GSL12

GSL12は、大規模のSR用に特別に設計されたラインアレイモジュールです。最大24ユニットまでのGSL12がフライング可能で、120°の安定した水平指向特性を作り出します。GSL12は前面に2つのネオジウム製14インチLFドライバーと、サイド面に2つのネオジウム製10インチLFドライバー構成されています。同軸の中高域セクションは、一つの10インチドライバーと3つの1.4インチの出口を持つMFホーンと、専用にデザインされたウェーブガイド上にマウントされた3.4インチボイスコイルからなるHFコンプレッションドライバーで構成されています。

キャビネットのスプレイ角度は0°から7°まで1°ずつ設定が可能です。対応するd&bアンプの2チャンネルでアクティブ駆動され、一つ目のチャンネルが14インチLFドライバーを駆動し、もう一つのチャンネルが他の全てのドライバーをパッシブクロスオーバーで駆動します。

この内部設計により、全帯域で平坦かつ非常に正確な水平方向の指向性を持ち、近隣の帯域が見事にオーバーラップした滑らかなクロスオーバー設計が達成されています。キャビネット正面と側面のLFドライバーの適切な配置により、正確な指向性制御が45Hzから18kHz以上まで維持されています。

筐体は、船舶グレードの合板から出来ており、全天候型のPCP(Polyurea Cabinet Protection)仕上げを施しています。フロントとサイドのパネルは、音響的に透過性がある撥水性の布が裏から貼られた厳重な金属製グリルのより貼り合わせてあります。それぞれのサイドパネルには窪みを伴ったハンドルがあり、リア側にも別のハンドルがあります。

d&b アンプ

d&b audiotechnikのスピーカーレンジは、d&b製のアンプでのみ動作させるように独自の設計をしています。これらのアンプは電源の供給と共に、d&bのシステムアプローチと関連し、ハイパフォーマンス、信頼性、長寿命を達成するための包括的な制御・保護機能も提供しています。GSL12の動作には、d&bのD80アンプの使用が要求されます。この大型ラインアレイスピーカーは2ウェイアクティブモードでドライブされ、スピーカー1台当たり2つのアンプチャンネルが必要となります。

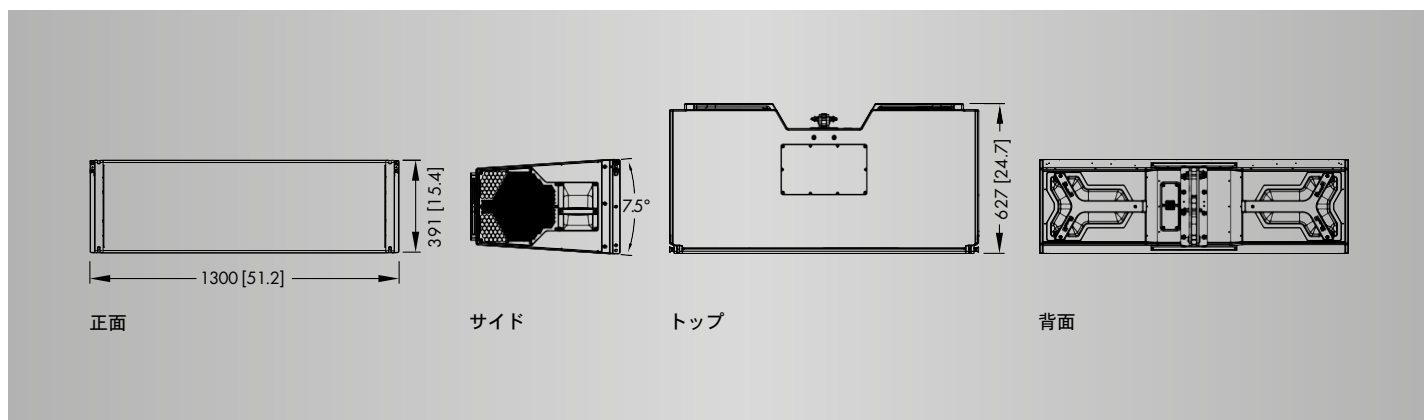
システムデータ

周波数特性(-5 dB 標準)45 Hz - 18 kHz
周波数特性(-5 dB カットモード)70 Hz - 18 kHz
最大音圧レベル(1m, 無響音場)	
D80使用時 149 dB
 (SPLmax: ブロードバンドシグナル IEC 60268)

スピーカーデータ

公称インピーダンス：フロントLF 4 オーム
公称インピーダンス：サイドLF/MF/HF4 オーム
定格出力：フロントLF (RMS/ピーク 10 ms)800/3200 W
定格出力：サイドLF/MF/HF (RMS/ピーク 10 ms)800/3200W
公称指向角度(水平) 120°
スプレイ角度設定 0 - 7° (1° 刻み)
コンポーネント 2 x 14" フロントLF ドライバー
 2 x 10" サイドLF ドライバー
 1 x 10" MF ドライバー
 3.4"コイル、3 x 1.4" スロート径のコンプレッションドライバー
 パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター 1 x NLT4 F
 重量80 kg (176 lb)

GSL12



GSL12 筐体寸法 mm [インチ]

機能と特長

- 低域レンジのカーディオイド技術により実現した、全動作帯域に渡るコンスタントな指向特性。
- パテントを取得したGSLシステム独自のフライングハードウェアと手順により、コンプレッションモード、テンションモードの両方においてツーリングカートから直接、迅速にGSL8、GSL12の設営が可能。
- アンプ2チャンネルのみでの駆動が可能：1チャンネルが筐体前面の14インチLFドライバーを駆動し、もう一つのチャンネルが筐体側面の10インチLFドライバー、10インチのMFドライバー、及び3つのHFドライバーをパッシブクロスオーバーで駆動します。
- ArrayProcessingにより観客席エリア全体において、アンプのチャンネルを追加することなく、音圧と音色バランスを最適化します。
- 卓越した低域出力
- 広帯域におけるヘッドルームの確保
- 効率的なケーブルシステムとアンブラックアッセンブリー
- 効率的な輸送設計

適応分野

- 大規模のSRアプリケーション
- フェス
- スタジアム
- アリーナ

